授業科目名・形態	公衆衛生看護活動論Ⅱ（成人・高齢者保健） 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	下園　美保子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期
科目ナンバリング	N6-3020pht				

【授業の主題】

成人及び高齢者保健分野における保健医療福祉の動向、現状と施策の変遷から健康課題を特定し、健康課題に沿った支援の在り方を学ぶ。また演習を通じて両保健分野における公衆衛生看護展開の視点と技術を学ぶ。上記の学びを通じて保健師の役割を学修する。

【到達目標】

1）現在の成人保健及び高齢者保健分野の健康課題と支援の課題が説明できる。
2）成人保健分野及び高齢者保健分野間の生活習慣の連続性と、各分野の予防活動が説明できる。
3）社会的環境と健康との関連及び健康の社会的決定要因について説明できる。
4）地域包括支援システムを構築する公衆衛生看護活動のポイントが説明できる。
5）成人保健及び高齢者保健分野における公衆衛生看護が展開できる。
6）成人保健及び高齢者保健分野における保健師の役割が説明できる。

【授業計画・内容】

第1回【成人期】成人期の発達課題と生活習慣病の現状
第2回【成人期】生活習慣病対策の概要（健康日本21第三次、各種健（検）診の関係）
第3回【成人期】特定健康診査・特定保健指導
第4回【成人期】生活習慣病を予防するための個別のアセスメント方法
第5回【成人期】データヘルスと地域のサポートシステム・社会資源（グループ支援）
第6回【高齢期】高齢者保健福祉の動向と対策の現状、保険事業と介護予防の一体的実施
第7回【高齢期】社会構造と健康・疾病との関係、健康の社会的決定要因（健康格差）
第8回【高齢期】フレイル、社会的孤立の実態と住民主体のフレイル予防
第9回【高齢期】地域包括ケアシステム　介護保険法の概要と変遷、地域包括ケアシステムの概念
第10回【高齢期】地域包括ケアシステム　社会的背景、地域包括支援センター
第11回【演習】事例展開　事例紹介、情報整理　（生活習慣病事例と高齢者事例）
第12回【演習】事例展開　情報整理、アセスメント
第13回【演習】事例展開　アセスメント、看護計画
第14回【演習】事例展開　発表
第15回　まとめ

【授業実施方法】基本的には講義形式で行うので、主体的に授業に参加すること。毎授業後にリアクションペーパーを提出する。第11－14回の演習では、テーマに沿ってグループ単位でディスカッションを行い、その後発表する。

【事前・事後学習】

＜事前学習＞講義回は、次回の講義範囲の教科書を読み、成人保健・高齢者保健分野の健康課題と支援について理解を深めておくこと（毎回2時間以上）。演習回は、事例の情報を整理し、グループディスカッションに向けて自分の考えをまとめておくこと（毎回2時間以上）。

＜事後学習＞講義回は、リアクションペーパーの作成を通じて学びを整理し、講義内容と地域の健康課題との関連性を考察すること（毎回2時間程度）。演習回は、グループディスカッションや発表で得られた学びを整理し、事例展開の振り返りを行い、多様な視点から成人保健・高齢者保健における支援のあり方を理解すること（毎回2時間程度）。

【主な関連する科目】「成人看護学」「老年看護学」「統計学」「公衆衛生学」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護学総論」の科目および実習

【教科書等】保健学講座第3巻　公衆衛生看護活動展開論　第1版. メジカルフレンド社
図説　国民衛生の動向　2025/2026　厚生労働統計協会

【参考文献】公衆衛生看護学テキスト③　公衆衛生看護活動Ⅰ　第2版. 医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】筆記試験80%、課題提出10%、授業態度等10%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】行政保健師としての実務経験で得られた成人保健・高齢者保健分野における公衆衛生看護活動の実例を織り交ぜ、グループワークを取り入れながら、学生自らが考え習得できるように講義内容を工夫する。

【学生へのメッセージ】　成人期の早世と高齢化率の上昇に伴う社会情勢に関心を持ち、成人期のサバイバー支援や高齢者の自立支援を促すために必要な個人・家庭・地域のエンパワーメント向上を目的とした保健活動や、活動を支える法律・制度についての理解を深めてください。また、成人期の生活習慣が高齢期の生活に影響を及ぼす連続性を理解し、生涯住み慣れた地域で生活していくための地域包括ケアシステム構築に取り組む保健師の姿を思い描きながら授業に臨んでください。